

御所 イベント 鶯宿思ひ出まじほ°

- ・期間：11月2日（木）～11月30日（木）
- ・受付（スタート）場所：鶯宿温泉観光協会
- ・受付時間：10時～17時（定休日：水曜日）
- ・参加費：無料
- ・問い合わせ：019-695-2209（鶯宿温泉観光協会）

昔の写真と同じスポットを探して写真を撮ろう！宿泊割引券が当たるチャンスです。



雫石 雪灯りの日を作ろう

来年2月11日町民劇場の日に、アルペン公園で2回目となる雪灯りイベントを開催します！お振舞もある(!)予定です。プレイイベントとして看板づくりやキャンドル教室も開催予定です。今後の情報にこうご期待！



地域づくりの人々

地域づくり会議はこれまでの地域コミュニティや様々な団体の枠を超えた「地域で支え合う力」を強化することを目的としています。今回は、地域で活動している団体「雫石町ジュニアリーダーズクラブSKY」OGの柿木歩実さんの声を紹介します！柿木さんは現在、西山マップチームのメンバーとして活動中です！

私が自分の住んでいる地域に興味を持ったのは、SKYでの活動からです。SKYは中高生が主体の地域活動をする団体です。経験や知識の浅い自分が、地域づくり会議に参加してみても「地域づくり」にかかる資金や労力など、将来的な行き先を考えると不安も多いですが、そこにやりがいや責任を感じることができています。今後も多くの方々と共に地域を見つめ続ける一員でありたいと思います。



柿木さんとケキヨきち

協力隊一言日記

だんだん寒い日が増えてきましたね。寒いの大嫌いな私ですが、今年は薪ストーブ入れたので冬が楽しみです。



増谷光記

学びの秋ということで、町内にて開催された「地域づくりカレッジ」に参加しました。ともに学び実践する場があるって、貴重な事ですよ。



古山裕二

いまから31年前の11月7日の明け方日赤病院で私は生まれました。お誕生日おめでとうの言葉、お待ちしております。



田山まり

田んぼの間の道でお星様を見るのが日課です。



秀島杏奈



しずつな

しずつなは、地域づくり活動の情報を地域のみなさまにお伝えするとともに、各チーム間の情報共有を目的として発行しています。



10月5日、中央公民館で地域づくり会議4地区合同情報交換会が開催されました。私たち地域づくりサポーターが各地区チーム活動の紹介をさせて頂きました。またヒアリングの結果報告や他自治体の事例紹介、住民の方によるパネルディスカッションなどが行われ盛りだくさんの一日でした！





## 「4 地区合同情報交換会 2017」を開催しました！

各地区の地域づくり会議メンバーと、地域づくりに関心がある自治会の皆さんが集結！つながりと学びの場で、積極的にコミュニケーションを図りました。参加者の皆様、ありがとうございました！

日時：10月5日（木）18:30~21:00  
場所：雫石町中央公民館  
2階 大会議室  
参加人数：80名

### 【情報交換会の目的】

1. 各地区のチーム活動の取り組み状況を共有する。
2. 地域組織ヒアリングから見てきた地域の特徴や課題を知る。
3. 他自治体等の取り組みを学び、地域づくり活動の今後の参考とする。

## ①行政区の現状と課題に関する報告

企画財政課 地域づくり推進室から、「地域組織ヒアリング」により分析した地域の組織や活動内容、また、各地区における課題や今後目指していく取り組みなどについて報告が行われました。



【配布資料ダウンロード】  
行政区の現状と課題に関する報告 (PDFファイル)

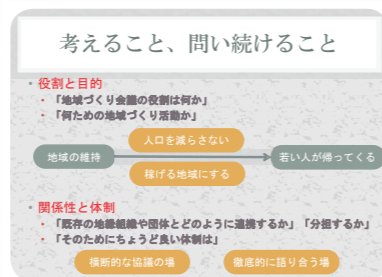


### ✓ KEY WORD 「地域組織ヒアリング」とは？

町内74の全行政区を訪ね、各地域の活動内容、組織の状況、地域の課題などを区長・自治会長・公民館長などからお聞きしました。（実施期間：5/29~10/4）

## ②他自治体の事例紹介

NPO法人 いわて地域づくり支援センター理事の若菜千穂さんより「これからの地域づくり」の事例紹介として、地域活動やマネジメントの先進事例等をご紹介いただきました。



【配布資料ダウンロード】  
“これからの地域づくり”の事例紹介 (PDFファイル)



### ✓ KEY WORD 「活動の“掛け算”を考える」

【実例】雫石雪灯りチーム × 御明神夏まつりチーム  
→人手不足の解消、年間活動の確保。アイデアや企画力の相乗効果。

【実例】雫石産直マップチーム  
→産直マップを作成し、産直の活性化を促進  
→農家さんを応援する活動をスタート

### ✓ KEY WORD 「地域の“マネジメント”の仕方を考える」

- ・一関市川崎のまちづくりポスト（協議にこだわった組織）
- ・山形県川西町吉島地区（人材育成・学びの循環）
- ・福島県二本松市東和地区（地域運営組織）

## ③パネルディスカッション

「地域づくりでの成果、気づいたこと、考えたこと」をテーマに、4地区の代表者がパネリストとして登壇し、意見交換を行いました。

### 根子憲一さん（雫石地区）

- ・会社の人を地域づくり（御所地区）仕事、家族、学校以外でのつながりができ、嬉しかったという声を聞いた。
- ・決めるということに関して意思決定がなかなか上手いれない。リーダーもしくは数人の事務局で責任を持って決めるという進め方は必要。想いを持った人を見つけてくるのが会議の役割なのではないかと思った。

### 山崎忍さん（御所地区）

- ・アンケートの結果を住民の方にお知らせできた。その発展形として「みんなの御用聞き通信」を6月に発行できた。
- ・アンケートの結果を考えて、どう地域の団体と一緒に行動するか、アプローチを考えたい。
- ・先日の台風で、連絡体制の改善を考えたい。防災が一番大事だと思う。

### 原正人さん（御明神地区）

- ・灯籠が108個、舟っこが数年ぶりに2艘になった。実行委員長、事務局長さんからは盛り上げ隊への感謝と今後も頼むという言葉もらった。
- ・今の活動は継続するが、今回実施したアンケートの結果を見ると住民が求めている活動と差異があることがわかった。住民の求めている活動も新規に検討していきたい。

### 丸山豊さん（西山地区）

- ・西山DEEPマップの完成。これで地域の人の方がより地域に詳しくなった。マップを活用して、今後イベントができるようになる。このマップを活用して交流人口の増加に向けた次の展開が期待できること。
- ・ミーティングへの地域住民の参加が少ない。マップの在庫が少なく思ったように配架できない。
- ・マップを使ったツアーを展開する予定です。是非ご参加ください。

### 広田純一教授（コーディネーター）

- ・各地区の活動が新しい人のつながりを生んでいる。
- ・御明神夏まつりでつながった人で、地域の別の課題に取り組みたいという話、とても重要なことだと思っている。
- ・今後は生活課題解決の方向につなげていければよいと思う。
- ・特に人の命が関わっていること、防災はやっぱり大きなテーマだと思う。



パネリスト（左から）  
根子憲一さん 山崎忍さん  
原正人さん 丸山豊さん



コーディネーター：広田純一教授  
（岩手大学農学部）

## ④テーマごとの情報共有

活動の目的が似ているチームどうしグループになり、各チームの共通の課題や解決策などを共有しました。

どうやって地域の良さを伝えていくか



活動への地域の巻き込み方



マップの活用のしかた



組織との連携のしかた



### 参加者の声（ふりかえりシートより）

- ・改めて、つながり方、つなげ方、関わり方はいろいろあると感じた。課題や目的に合ったつながり方を良く考えていくことが大事だと思う。・地域づくりの意識が皆さん高いと感じた。
- ・掛け算って大事。他の地区、チームとの情報交換・共有が自分の活動のヒントにもなる。
- ・他チームの話が参考になった。自分のチームでも提案したい。自治会の方などから客観的な意見が聞けて良かった。